



2021年5月27日

報道関係者各位

長期使用住宅部材標準化推進協議会

新会長就任のお知らせと2020年度活動実績

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協(CJK))は、2021年5月27日より戸崎富雄(住友林業株式会社 執行役員 住宅・建築事業本部副本部長)が新会長に就任いたします。新たな体制下で、本協議会の活動が、住まい手のより豊かな住生活への実現に貢献するとともに会員各社および住宅関連産業の拡大へとつながるよう推進してまいります。

【新会長挨拶】

2021年度より会長に就任した戸崎でございます。長期使用対応部材(CJK部材)の標準(共通)化の普及推進に向け、取り組んで参りますので、本協議会へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

当協議会は2008年7月に住宅部材・部品の標準化推進団体として発足以来2021年に14年目を迎えます。

これも偏に経済産業省、会員各位のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

本協議会の活動は、住宅産業及び建材・住宅設備等関連産業に係わる部材の共通化・標準化を目的とした調査・研究等を行うことにより、住宅関連産業における長期使用の基盤整備及び振興を図り、我が国住宅産業、建材・住宅設備等関連産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とし、住宅・設備・建材の各リーディングカンパニーが参画し精力的に取り組む、長期使用対応部材(CJK部材)の標準(共通)化の普及を推進しています。

これは、持続可能な開発目標(SDGs)の「豊かで活力のある未来を創る」「持続可能で多様性と包摂性のある社会実現」、また令和新時代のグローバルな環境社会を強く意識したSociety5.0の安全で安心な暮らしの実現と経済社会基盤確保や、住生活基本法計画の安心して暮らすことができる住生活の実現、住宅ストック活用型市場への転換、住生活を支え、強い経済を実現する担い手としての住生活産業活性化と課題解消等、社会に貢献する活動でもあります。

本協議会は、今後も精力的に会員及び・長期使用対応部材(CJK部材)品目の拡大を目指し普及促進に取り組んで参ります。

経済産業省、会員各位に於かれましては引き続き当協議会への更なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



長期使用住宅部材標準化推進協議会

第7期会長 戸崎 富雄

住友林業株式会社 執行役員 住宅・建築事業本部副本部長

【第7期 活動方針】

1. 次期ロードマップ策定と事業計画を達成すべく各事業分科会の活動支援
2. CJK 部材の採用・供給交換体制における表示事案に関して適正な運用・推進実施
3. 他団体との協業推進、展示会への出展等により一般消費者を含めたより一層の普及促進を図る

2020 年度実績

1. 長期使用対応部材として新規に 12 品目を標準化しました。
総数は 2021 年度末の目標品目 125 品目に対し、116 品目となりました。
2. 会員企業数は、会員企業各社の告知活動や団体に向けた本協議会活動の説明、CJK 基準書作成協力の依頼によって 8 社が新規入会しました。
この結果、会員企業数は 112 社となりました。2021 年度末の目標 125 社に向けて取り組んでいきます。
3. 基準書に適合する部材情報のホームページ掲載の推進や本協議会及び CJK 部材をご紹介する動画を制作するなど、認知向上と普及推進に取り組みました。
4. 住宅関連業界団体との連携の継続や展示会での講演を通じて、CJK 部材の普及推進に取り組みました。
 - (1) CJK 部材の拡大にむけ、住宅関連業界団体と連携し、CJK 基準書を作成しました。
 - (2) 本協議会の事業を住宅関連業界団体が発行する機関誌に掲載するなど、本協議会の認知拡大を推進しました。
 - (3) 「住宅ビジネスフェア」のセミナーにおいて長住協の活動を紹介するとともに、CJK マークの普及推進を行いました。（開催日：2020 年 9 月 25 日）

ご参考：長期使用住宅部材標準化推進協議会について

本協議会は、経済産業省の研究会の提言に基づき、住宅部品・部材の標準（共通）化の推進団体として設立され、大手住宅メーカー・建材メーカー・住宅設備機器メーカーが一堂に会し、住宅を長く住み継ぐために不可欠なメンテナンスを容易にするため、住宅部材の標準（共通）化を推進する事を目的として活動しております。（<https://www.chojukyo.jp/>）

〔本件に関するお問い合わせ先〕

長期使用住宅部材標準化推進協議会 事務局 住友林業(株) 黛 良志治

03-3214-3793 cjk@chojukyo.jp

定休日：水・日・祝 受付時間：10 時～17 時

【参考資料】

2020年度実績

1. 審査・承認・登録したCJK部材(17品目)

※2020年度末 116品目

新規

洗面化粧ユニット	トップライト(フラット屋根用架台設置タイプ)
フローリング(直張用)	キッチン用排水管接続部材
樹脂勝手口ドア用ドアクローザ(垂直面取付け)	キッチン用浄水器専用水栓
樹脂内倒し窓用トップラッチ	アルミ・樹脂複合内倒し窓用トップラッチ
屋外用よこ引きストレーナーキャップ(排水溜め部あり)	内部収納用金属製ハンガーパイプ(楕円型)用受金物
内部収納用金属製ハンガーパイプ(丸型)用受金物	ランドリーパイプ(浴室用)

改訂

温水洗浄便座(シート形)	暖房便座(シート形)
普通便座	玄関ドア用ドアクローザ
屋外用よこ引きストレーナーキャップ(排水溜め部なし)	

2. 新規入会した企業(8社)

※2020年度末 112社(正会員数26社、賛助会員数86社)

正会員	本年度入会なし
賛助会員	アイカ工業(株)、榎本金属(株)、神島化学工業(株)、東京ガスコミュニケーションズ(株)、日本フネン(株)、(株)ハウステック、マックス(株)、(株)水上

3. ホームページでの基準書適合部材情報の掲載(4品目掲載)

※2020年度末 60品目

外部部材	戸建住宅玄関ドア用本締錠、戸建住宅玄関ドア用空錠、アルミ勝手口ドア用本締錠
設備部材	キッチン用排水管接続部材

4. 本協議会及びCJK部材をご紹介する動画

下記からご覧いただけます。

・本協議会ホームページ内「動画ライブラリー」

<https://www.chojukyo.jp/movie.html>

2021年度 活動方針

2022年3月末までにCjK部材の標準化125品目と会員企業数125社の実現、CjK部材の一般消費者を含めたより一層の普及促進。

- (1)次期ロードマップ策定と事業計画の達成。
- (2)CjK部材の採用・供給交換体制における表示事案に関して適正な運用と推進。
- (3)他団体との協業推進、展示会への出展等により一般消費者を含めたより一層の普及促進。
- (4)部材選定の根拠となる各種調査結果を分析し、標準(共通)化が望ましい部材について優先順位を設定。
ガイドラインに基づいた部材の標準(共通)化の推進。
- (5)メンテナンスの事例調査・研究。新たな切り口での標準(共通)化の検討。
- (6)既基準書について必要に応じた改訂。